

第6章 林業関係被害

林業関係の被害は、菱刈町下手地区において林地崩壊により1名の尊い命が失われるなど、林地崩壊が246箇所、林道施設の法面崩壊や路肩決壊等70路線の118箇所が被災、被害総額は24億8千3百万円余となった。

林業関係被害

(単位：箇所，千円)

	件数	被害額	主な被害
林地崩壊	246	1,715,186	菱刈町下手地区（W-約40m，H=約20m，死者1名）を含む
林道被害	118	767,046	法面崩壊，路肩決壊等
林業施設	1	1,000	森林活用施設に崩土流入
計	365	2,483,232	

市町村別被害状況

(単位：箇所，千円)

市町村名	林地崩壊		林道施設		林業施設		計	
	件数	被害額	件数	被害額	件数	被害額	件数	被害額
薩摩川内市	12	87,000	26	160,298			38	247,298
さつま町	71	314,100	29	229,997	1	1,000	101	545,097
出水市	39	410,944	21	182,140			60	593,084
阿久根市	5	95,000	14	77,127			19	172,127
長島町	1	1,000	3	8,710			4	9,710
大口市	38	222,962	10	37,203			48	260,165
菱刈町	55	385,730	10	41,796			65	427,526
霧島市	4	16,400	3	24,623			7	41,023
湧水町	19	181,600	2	5,152			21	186,752
始良町	1	300					1	300
鹿児島市	1	150					1	150
	246	1,715,186	118	767,046	1	1,000	365	2,483,232

第1節 林地崩壊

治山関係の被害状況は、林地崩壊が246箇所、被害額は17億1千5百万円余となった。

被害発生地域を管内別に見ると、大口農林事務所管内が93箇所、川薩農林事務所管内が83箇所、出水農林水産事務所管内が45箇所、計221箇所と全体の約90%を占めている。

治山関係の被害状況

(単位：ha, 千円)

発生時期	林地崩壊			施設災害			計		
	箇所数	面積	被害額	箇所数	面積	被害額	箇所数	面積	被害額
7/20～7/23	246	5.01	1,715,186	0	0	0	246	5.01	1,715,186

管内別被害状況 (単位：千円)

区分	7/20～7/23	
	箇所数	被害額
鹿児島	1	150
指宿		
加世田		
伊集院		
川薩	83	401,100
出水	45	506,944
大口	93	608,692
加治木	24	198,300
大隅		
鹿屋		
熊毛		
大島		
計	246	1,715,186



山腹の崩壊状況 (菱刈町)



全壊した家屋（菱刈町）



山腹の崩壊状況（大口市）

第2節 林道施設等

林道施設被害は、9市町、70路線、118箇所、被災延長5,373m、被害額7億6千7百万円余であった。

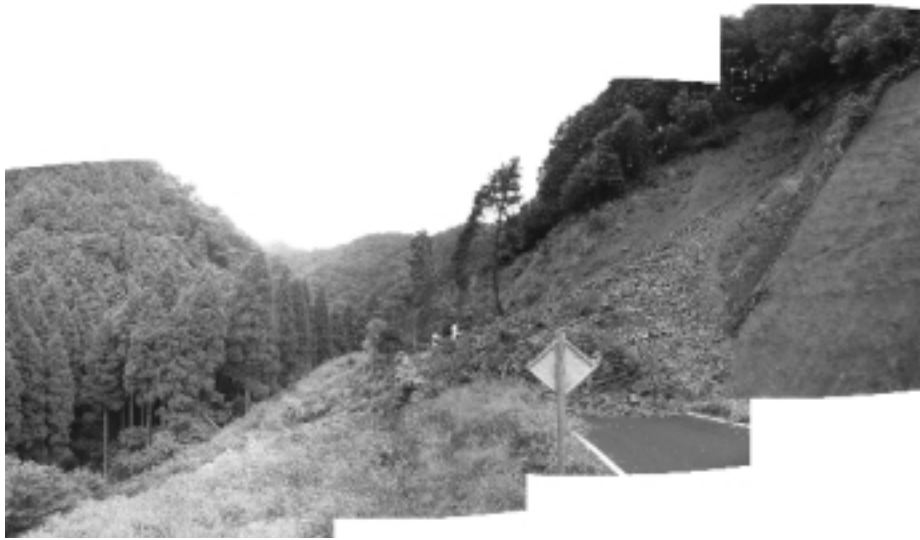
被害発生地域を管内別にみると、川薩農林事務所では薩摩川内市、さつま町、出水農林水産事務所では阿久根市、出水市、長島町、大口農林事務所では、大口市、菱刈町、加治木農林事務所では霧島市、湧水町で被害が発生した。

一般的な林道災害では、法面崩壊、路肩決壊またはこれらが組み合わさった被害形態がほとんどである。本年の災害の特徴としては、小規模な法面崩壊が広範囲に発生している事例、暗渠が閉塞したことにより滞留した水の圧力で路体が流失した事例、側溝が詰まったことにより雨水が路面を走り路面が洗掘された事例、舗装工の下層が洗掘されたことにより舗装自体が陥没した事例などが顕著に見られた。

また、林業関係施設被害は、1町、被害額百万円で、森林活用施設において林地からの崩土によるものであった。

林道の災害状況

災害名	発生時期	市町村名	路線数	箇所数	被災延長(m)	被害額(千円)
梅雨災害	7/22~7/23	薩摩川内市	14	26	741	160,298
		さつま町	13	29	2,074	229,997
		阿久根市	6	14	794	77,127
		出水市	16	21	626	182,140
		長島町	2	3	217	8,710
		大口市	6	10	193	37,203
		菱刈町	8	10	568	41,796
		霧島市	3	3	92	24,623
		湧水町	2	2	68	5,152
計		9	70	118	5,373	767,046



崩壊した法面【藤之元線】（薩摩川内市）



陥没した路面【倉三線】（長島町）



流出した路体【下手線】（菱刈町）

第7章 水産業関係被害

水産業関係の被害は、流木等による漁船の破損が3市町で46隻、養殖施設での成魚・稚魚の流出が2町で4箇所、漁港の航路・泊地における土砂埋そく被害が2市町で2箇所発生し、被害総額は5千3百万円余りとなった。

水産業関係被害 (単位：箇所，千円)

	件数	被害額	主な被害
漁船	46	11,420	河川水の増水や流木等による破損等
養殖施設等	4	13,900	河川水の増水による養殖ニジマス等の流出
漁業共同利用施設	4	12,000	河川水の増水によるアユ産卵場の埋没
漁港施設	2	15,816	航路・泊地における土砂埋そく，流木流入
計	56	53,136	

市町村別被害状況 (単位：箇所，千円)

市町村名	漁船		養殖施設等		共同利用施設		漁港施設		計	
	件数	被害額	件数	被害額	件数	被害額	件数	被害額	件数	被害額
薩摩川内市	4	3,650							4	3,650
さつま町	35	6,210	2	5,000					37	11,210
出水市					4	12,000	1	5,749	5	32,000
長島町	7	1,560					1	10,067	8	21,560
湧水町			2	8,900					2	8,900
	46	11,420	4	13,900	4	12,000	2	15,816	56	53,136

第1節 漁船，養殖施設等

今回の大雨による漁船，養殖施設等の被害状況は，被害総額で3千7百万円余りとなった。

被害の内容を区別に見ると，漁船の被害が46隻で1千1百万円余り，養殖施設が4件，1千3百万円余り，漁業共同利用施設等が4件，1千2百万円余りであった。

さらに，二次的被害として河川等から流れた流木等が下流域や周辺河口域の広範囲に拡散，漂流し，漁船漁業等の操業に支障をきたすなどの影響がでた。

それぞれの災害別の被害状況は次表のとおりである。

水産関係の被害状況 (単位：千円)

区分	被害金額	主な被害箇所・内容等
漁船	11,420	3市町 46隻 河川水の増水や流木等による破損等
養殖施設等	13,900	2町 4件 河川水の増水による養殖ニジマス等の流出
漁業共同利用施設等	12,000	1市 4箇所 河川水の増水によるアユ産卵場の埋没
合計	37,320	54件

第2節 漁港施設

今回の大雨による漁港施設の被害状況は、名護漁港，汐見漁港の2箇所15,816千円となった。その被災原因としては、2箇所とも土砂等が航路に流入し埋そくしたものである。

漁港施設の被害状況

(単位：千円)

区別	漁港名	市町村名	箇所数	被害額	主な被害内容
県	名護漁港	出水市	1	5,749	-2.0m航路 V=1,602m ³ 土砂埋そく
市町村	汐見漁港	長島町	1	10,067	-2.0m航路 V=4,282m ³ 土砂埋そく V=64m ³ 流木流入
合計	2漁港		2	15,816	



汐見漁港の流木除去状況